

福祉（社会福祉概論）

2007年に行われた社会福祉士及び介護福祉士法等の改正に関する次の記述のうち妥当なのはどれか。

1. 社会福祉士の業務が多様な領域に拡大していることを背景に、更生保護法人や市町村教育委員会に社会福祉士を置くことになった。
2. 社会福祉士の義務に関する規定が見直され、地域に即した創意と工夫を行いつつ、福祉サービス関係者との連携を保つことなどが義務づけられた。
3. 社会福祉士の養成課程が改められ、厚生労働大臣の認可を受けた高等学校を卒業すると、社会福祉士国家試験の受験資格を得られるようになった。
4. 介護福祉士の業務内容が見直され、痰の吸引などの一部の医療行為を医師の指示に基づいて行うことが、介護福祉士の業務に位置づけられた。
5. 従来はホームヘルパーと呼ばれていた介護職は、この法律に基づく国家資格になり、あわせて名称が准介護福祉士に改められた。

（正答＝2）

福祉（社会福祉概論）

2000年、国際ソーシャルワーカー連盟（IFSW）の総会において「ソーシャルワークの定義」が採択された。次の記述のうちこの定義として正しいのはどれか。

1. ソーシャルワークは、理論研究と実践理論から導かれた仮説に基づく知識体系に、その方法論の基礎を置く。
2. ソーシャルワークは、人々とその環境の間の単純な相互作用に働きかける。
3. ソーシャルワークは、人間の行動と社会システムに関する理論を利用して、人々はその環境と相互に影響し合う接点に介入する。
4. ソーシャルワークは、日常の個人的問題など、個人に内在する障害に焦点を当てて取り組む。
5. ソーシャルワークは、すべての人間が平等であること、価値ある存在であること、そして、自由であることを認めて、これを保証する。

（正答＝3）

福祉（社会福祉概論）

ケアマネジメントに関する次の記述のうち妥当なのはどれか。

1. ケアマネジメントは、欧米における1960年代の施設内ケア拡充の動きの中で活用され始めた技術である。
2. ケアマネジメントは、人間関係維持のための相談援助や社会資源活用のための支援を含むものと位置づけられている。
3. ケアマネジメントは、日本では1970年代に導入され、現在では医療・高齢・障害・児童の各分野で制度化されている。
4. ケアマネジメントは、多職種の中における社会福祉援助職の独自性を明らかにするために導入された技術である。
5. ケアマネジメントは、利用者のニーズをアセスメントし、それに応じたサービス・パッケージの作成をもって終結する。

（正答＝2）